

記者懇談会の記録

日 時	令和 8 年 9 月 29 日（火） 15：30～15：49
場 所	岩見沢市役所 3 階 会議室 3-5
記者数	5 人

1 季節性インフルエンザワクチン・新型コロナワクチン定期予防接種について

（市長）

例年 10 月中旬から、65 歳以上の高齢者の方等を対象とした季節性インフルエンザ及び新型コロナウイルスワクチンの定期予防接種を開始していましたが、今年は、全国的にも、また道内でも、例年よりも早く流行入りしたことに伴い、当初 10 月 13 日開始予定としていた接種開始日を前倒しし、10 月 1 日から開始することとしました。

広報 10 月号及び市ホームページを通じて、市民の皆さんへお知らせしているところです。

接種費用につきましては、昨年と同様、季節性インフルエンザワクチンは 1,400 円、新型コロナウイルスワクチンは 7,900 円の自己負担となります。なお、生活保護世帯の方は無料です。

10 月 1 日を若干過ぎてからの接種開始となる医療機関もあると想定されます。ワクチンの接種を希望される場合は、事前に医療機関へ確認・予約をお願いいたします。

流行期が大体いつからになるかということ想定しながらということになると思いますが、年内に流行のピークを迎える予想ですので、そのためにも少しでも接種時期を早めるという対応をいたしました。

重症化予防及び感染予防にご留意いただくよう、改めてお願いいたします。

以上でございます。

<質疑応答>

（空知新聞社）

新型コロナウイルスワクチンについても 10 月 1 日から接種できると記載がありますが、コロナウイルスワクチンについては負担の補助といったものはありますか。

（市長）

負担の補助はかなり出ております。自己負担が 7,900 円ですが、接種に 15,000 円から 16,000 円程度かかっております。

ワクチン代は接種を受ける方にご負担いただき、手技料と言いますか、接種に係る費用といったものを市で負担しております。

（空知新聞社）

それは市独自の負担ということですか。

(市長)
そうです。

2 幌向地区内予約型乗合タクシーの実証運行について

(市長)

次に、幌向地区内予約型乗合タクシーの実証運行についてご説明いたします。

幌向地区内の自宅と目的地、主に駅ですが、「幌向地区内予約型乗合タクシー」の実証運行を10月1日から開始いたします。

岩見沢地区ハイヤー協会を運行主体とする民間事業となりますが、収入で賄えない経費については市が補助することとしております。

導入に至るまでの経過でございますが、幌向地区においては、高齢化が進む中、地域内での移動が困難となる方が増えている現状を踏まえ、住民による検討組織を令和4年に設置し、アンケートの実施や市も入って協議を進めてきた中で、自宅から目的地を結ぶ地区内予約型乗合タクシーが有益との整理がなされました。

市といたしましても、高齢化に加え、駅を中心とした広いエリアに約6,000人が居住し、スーパーや医療機関など、一通りの生活機能が備わっている幌向の地域特性を踏まえると、地区内の移動手段はコミュニティを維持していく上で有効であると判断いたしました。

運行の概要は別紙のチラシに記載しておりますが、目的地は、幌向駅南口、Aコープ幌向店など5か所としており、利用するには、前日の17時までの電話予約が必要となります。

運行便数は、自宅から目的地へ行く往路は5便、自宅へ帰る復路は5便の計10便あり、利用料金は1人あたり片道300円で距離に関係なく一律料金を設定しております。

また、車両については既存のタクシー車両を使用いたします。

実証期間については、季節によって利用の増減も考えられることから、最低でも1年は実施していきたいと考えております。

以上でございます。

〈質疑応答〉

(空知新聞社)

あさってからのスタートということになりますが、バス路線としては、幌向から岩見沢中心部までをつないでいるバス路線がなくなったということでの代替かと思いますが、幌向地区から中心部までの運行に至らなかったというのは何かあるのでしょうか。

(市長)

中央バスの路線が、乗車人数が極めて少ないということで廃止となりました。

JR については運行しておりますので、幌向から岩見沢駅までについては、JR をご利用いただくということも含めて色々協議していただいた訳ですが、仮に、岩見沢中心部まで運行するということになりますと、距離も時間も費用も数倍程度ではきかなくなってしまうので、利用者の方の負担や生活の実情に合わせて幌向地区内の予約型の乗合タクシーの運行ということになりました。

また、幌向地区は交通空白地にはなっておりませんので、初めての空白地域ではない地域への乗合タクシーの運行実証を行うという取り組みになります。

(空知新聞社)

利用料金が一律 300 円ということで、目に飛び込んでくる価格としては安いという印象があります。支払いの際に、100 円玉 3 枚だと大変ではないかなと。それだったらワンコインでもよかったのではないかなと。このご時世で 100 円でも安い方がよいという反面、ワンコインという印象の方が 300 円の方が安いという印象があるのでないかなと。その設定も令和 4 年に設置した検討組織との折り合いがあったのでしょうか。

(市長)

基本的には、他の地区でもやっているデマンド型乗合タクシーの料金との比較も踏まえた上で協議を行い、300 円としたところです。

確かにワンコインもよいかもしれませんが、ワンコインがなければ結局は 100 円玉 5 枚が必要になってきますので。

300 円が妥当ということで設定しました。かといって安ければよいというものでもありませんので、持続性も踏まえて 300 円で設定したところです。

(空知新聞社)

タクシーの初乗り料金を考えても、ワンコインでも十分に負担の上では安いのかなと思ったりもしたのですが。

(市長)

予算としては、半年間で 170 万円程度の市の負担を想定しておりまして、年間で 340 万円程度です。幌向にはタクシーの事業所がありませんので、市街中心部からの回送費用も発生します。全体経費も踏まえて 300 円のご負担で乗っていただきたいというようなことで、また、是非乗りたいというご希望もあったところですので、そういった料金設定にいたしました。

(HBC)

今回、実証運行ということで、長くても 1 年間ということですが、その後は利用状況に応じてどうしていくかということを検討していくイメージですか。

(市長)

“長くても 1 年間”というよりは、“最低でも 1 年間”は実証を続けるということをサポートラインで考えています。

現在、3 件の予約が入っていると聞いています。しっかりとご利用いただければ、維持は出来るのかなと思っております。

ただ、あまりにも利用が少ないとコストばかりかかる話になりますので。

(企画財政部長)

中心部から幌向駅を過ぎた南 4 条まで、住宅地を走るバス路線がありまして、住宅地部分は南側だけでしたが、その補完を、北側を含めた形でやらせていただこうということで、住民の希望を含め、このような内容となりました。

3 その他記者から質問

(北海道新聞)

一度コメントはいただいたのですが、先週、渡邊孝一衆議院議員が現職でお亡くなりになりました。

市制功労表彰を決定されたということでしたが、改めて市長から一言お願いいたします。

(市長)

明日、偲ぶ会がサンプラザで開催されますが、現職で突然のご逝去ということで、衝撃を受けた方は全国に沢山いらっしゃると思います。

岩見沢市の前市長として、平成 18 年の市町村合併を行って今の岩見沢市の元を作られた。

市町村合併は色々な困難がございました。私はその頃は職員として教育委員会にいましたが、なかなかハードな合併調整が各分野で行われたんですが、市町村合併を行って、今ある岩見沢市のベースを作られたということは評価しているところです。

私より一つ年下でお若いですし、ご家族の方はとても驚かれたことでしょうし、これからのご活躍も期待されている方でしたので、残念に思っております。

改めてお悔やみ申し上げたいと思います。

(空知新聞社)

昨日プレスリリースいただきました消防の車両の車検が 5 日ほど切れた 2 日後に運転していたという顛末があったのですが、市の公用車というところでは、しばらくぶりの事案だったのかなと思うんですけども、改めてその部分に対しての受け止めと、起きてしまったというところで、市長として再発防止に向けてのお話をお聞きしたいと思います。

(市長)

市の公用車というか、消防の車両ですけれども、資材運搬車です。

岩見沢市でもかつてそういったことがあったんですけれども、その時に、再発防止策を徹底し、岩見沢市役所内で起きたということもあって、さらに再発防止を徹底して、そういった運用は実は消防の方でも行っていたはずなんですけれども、年間の車検整備のスケジュールがありますので、それが十分ではなかったということなので、それを踏まえて、再発防止を徹底したいなというふうに思います。

やはり、上司による二重チェックが必要ですが、そういったことは消防でも既に実施をしているところなんですけれども、残念に思っております。

(空知新聞社)

改めて、それを受けて、市の公用車の車検だけでなく、運転免許証も含めてのチェック体制というか、点検や確認の体制について、改めて文書での指示ですとか、そういったことは行うのですか。

(市長)

文書での指示は行いません。消防での事案は、当然、職員課サイドにも報告は来ますし、然るべき措置も当然取りますけれども、当然のこととして、日常の業務の中で徹底するということは基本になります。

今、財政課を中心に、公用車の車検管理も含め行い、一元管理しています。担当任せにしないということで、財政課の方で徹底して行っております。

消防で起きたことは残念な事例ですけれども、そのことも踏まえて、今後も財政課の方で徹底して行いうということになろうかと思えます。

(企画財政部長)

現在、毎月車検については（財政課から担当課に）通知し、終わった後の確認も財政課で行っていますので、それをさらに上乘せして通知するということはないと思いますので、今まで通りきちんと確認が出来ているので、引き続き同じように取り組むということで考えております。

(空知新聞社)

分かりました。

(注) この記録は、重複した言葉遣いや明らかな言い直しがあったものなどを整理した上で作成しています。(作成：総務部秘書課広報室)